

教職課程履修カルテ① 教職関連科目の履修状況

学籍番号		所属	<input type="checkbox"/> 音楽学部 科 () <input type="checkbox"/> 音楽研究科 <input type="checkbox"/> 修士課程 専攻 () <input type="checkbox"/> 博士後期課程 <input type="checkbox"/> 科目等履修生	写真貼付欄
ふりがな				
氏名				
連絡先	〒			
	メールアドレス ()	自宅TEL ()	携帯電話 ()	

【1】教職課程履修＝教員免許状取得にあたっての決意(将来の志望などを含む)

【2】教職課程の履修計画・履修状況
 ※1 「教科及び教科の指導法に関する科目」については、所属によって必要単位が異なるので、履修便覧を参照し、計画的に履修すること
 ※2 単位を修得した年次に「○」すること(介護等体験は実施した年次に「○」)
 ※3 教育実習前年度までに、下線の科目および「音楽教科教育法Ⅱ-1」または「音楽教科教育法Ⅱ-2」を修得している必要がある

科目名	履修方法	履修状況					科目名	履修方法	履修状況					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1年次に履修						ソルフェージュ						
	教職概論	1年次に履修						副科独唱(声楽実技)						
	教育と社会	2、3年次に履修						副科合唱(合唱)						
	(心理学概説)	免許法で定められている科目には含まれていないが、履修することが望ましい						日本の伝統的な歌唱	2年次以降に履修					
	教育心理学	2、3年次に履修「心理学概説」を修得後、履修することが望ましい						ピアノ(オルガン、チェンバロ)						
	特別支援の理解	1年次に履修						器楽合奏(合奏・伴奏、専門実技等)						
	教育課程論	1年次に履修						和楽器実技	2年次以降に履修					
	道德教育の理論と指導法	1、2年次に履修 ☆中学校教諭免許のみ必要						指揮法(指揮実技理論)						
	総合的な学習の時間の指導法	3年次に履修						和声・音楽理論他						
	特別活動論	2、3年次に履修						西洋音楽史						
	教育方法学	2年次に履修						日本・東洋音楽史						
	ICTを活用した教育の理論と実践	1年次に履修						音楽教科教育法Ⅰ-1	2年次に履修					
	生徒指導の理論と方法	2、3年次に履修						音楽教科教育法Ⅰ-2	2年次に履修					
	進路指導・教育相談	2、3年次に履修						音楽教科教育法Ⅱ-1	3年次に履修(音楽教科教育法Ⅰ修得後)					
	教育実習(事前事後指導を含む)	4年次に履修 ※3を参照						音楽教科教育法Ⅱ-2	3年次に履修(音楽教科教育法Ⅰ修得後)					
教職実践演習	4年次教育実習後に履修													
介護等体験	☆中学校教諭免許のみ必要(単位なし)													
第6条の6に定める科目	法学(日本国憲法)						その他							
	体育Ⅰ													
	外国語科目													
	情報機器の操作等													

教職課程履修カルテ② 自己評価シート

1. まったくできない 2. できない 3. できる 4. よくできる

分類	項目	指 標	2年次初頭	3年次初頭	4年次初頭	教育実習後	教職実践演習履修後
学校 理解 教育の	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	教育の理念・教育史・思想	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
の 子 理 ど 解 も	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
コ ミ ニ ケ ー シ ョ ン	保護者・地域との連携・協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	他者との連携・協力・役割の遂行	集団において、自らの役割を見つけてそれをこなしたり、他者と協力して課題に取り組んだりすることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	子どもに対する態度	自ら積極的に子どもたちの中に入り、親しみをもった態度で接したりコミュニケーションをとったりすることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	社会人としての基本・他者意見の受容	挨拶、言葉遣い、服装など、社会人としての基本的な事項を身につけ、他者の意見に耳を傾けることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
教 科 専 門 に 関 する 基 礎 知 識 ・ 技 能	歌唱	発声法の基礎を身につけ、自信をもって範唱することができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	ピアノ伴奏	歌いながら伴奏をしたり、子どもの音楽性を喚起するような伴奏をしたりすることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	指揮	子どもの表現意欲を引き出すような指揮をすることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	器楽	管弦打楽器に関する基本的な知識と、基礎的な演奏技能を身につけていますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	伝統的な歌唱・和楽器	伝統的な歌唱と和楽器についての基本的な知識と、基礎的な歌唱・演奏の技能を身につけていますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	音楽理論	音楽理論に関する基礎的な知識をもち、教材を分析したり音楽の構造的側面について説明したりすることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	作曲・編曲	作曲・編曲に関する基礎的な技能をもち、題材等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	教材選択	歌唱、器楽および鑑賞の多様な教材曲に関する基礎的な知識をもち、適切な教材を選択することができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	音楽史等	音楽とそれを支える風土や文化、歴史との関わり、他ジャンルの芸術との関わりについて理解していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	ソルフェージュ	合唱や合奏の響きを分析的に聴き取ったり、必要に応じて移調して伴奏したりすることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
基 礎 知 識 ・ 技 能	教科書・学習指導要領	教科書や中学校・高等学校学習指導要領(音楽科・芸術科音楽)の内容を理解していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	教育課程の編成に関する理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間	道徳教育・特別活動、「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	学習指導法と情報機器の活用	学習指導法や情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
教 育 実 践	授業構想力	教材研究を生かした音楽科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	授業展開力	子どもの反応を生かし、授業を展開することができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など、授業を行う上での基本的な表現の技術を身につけていますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
課 題 探 求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決に向けて、学び続ける姿勢をもっていますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心をもち、意見をもつことができますか。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
教 員 確 認 欄	教育実習申込時		教育実習前			教育実習後(教職実践演習時)	

- ・毎年4月及び4年次の所定の時期に、自分の履修状況と自己評価をカルテに記入し、コピーをとった上で音楽教育研究室に提出すること
- ・①教育実習の履修申込時、②教育実習前、③教育実習後(教職実践演習履修時)に、音楽教育研究室の確認を受けること
- ・提出場所や方法は、教職関連授業において伝達及び掲示するので確認すること

教職課程履修カルテ① 教職関連科目の履修状況

学籍番号	2522001	所属	<input checked="" type="checkbox"/> 音楽学部 <input type="checkbox"/> 音楽研究科 <input type="checkbox"/> 科目等履修生	器楽 科 (ピアノ) <input type="checkbox"/> 修士課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程	専攻()	写真貼付欄 写真は必ず 貼り付けてください
ふりがな	げいだい はなこ					
氏名	藝大 花子					
連絡先	〒 110-8714 東京都台東区上野公園12-8					
	メールアドレス (〇〇〇〇@ms.geidai.ac.jp)	自宅TEL (000-1111-2222)	携帯電話 (090-3333-4444)			

【1】教職課程履修＝教員免許状取得にあたっての決意(将来の志望などを含む)

【1】までの各項目について記入してください。裏面は空欄のままです。

【2】教職課程の履修計画・履修状況

- ※1 「教科及び教科の指導法に関する科目」については、所属によって必要単位が異なるので、履修便覧を参照し、計画的に履修すること
- ※2 単位を修得した年次に「○」すること(介護等体験は実施した年次に「○」)
- ※3 教育実習前年度までに、下線の科目および「音楽教科教育法Ⅱ-1」または「音楽教科教育法Ⅱ-2」を修得している必要がある

科目名	履修方法	履修状況					科目名	履修方法	履修状況				
		1年次	2年次	3年次	4年次	1年次			2年次	3年次	4年次		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1年次に履修					ソルフェージュ						
	教職概論	1年次に履修					副科独唱(声楽実技)						
	教育と社会	2、3年次に履修					副科合唱(合唱)						
	(心理学概説)	免許法で定められている科目には含まれていないが、履修することが望ましい					日本の伝統的な歌唱	2年次以降に履修					
	教育心理学	2、3年次に履修「心理学概説」を修得後、履修することが望ましい					ピアノ(オルガン、チェンバロ)						
	特別支援の理解	1年次に履修					器楽合奏(合奏・伴奏、専門実技等)						
	教育課程論	1年次に履修					和楽器実技	2年次以降に履修					
	道德教育の理論と指導法	1、2年次に履修 ☆中学校教諭免許のみ必要					指揮法(指揮実技理論)						
	総合的な学習の時間の指導法	3年次に履修					和声・音楽理論他						
	特別活動論	2、3年次に履修					西洋音楽史						
	教育方法学	2年次に履修					日本・東洋音楽史						
	ICTを活用した教育の理論と実践	1年次に履修					音楽教科教育法Ⅰ-1	2年次に履修					
	生徒指導の理論と方法	2、3年次に履修					音楽教科教育法Ⅰ-2	2年次に履修					
	進路指導・教育相談	2、3年次に履修					音楽教科教育法Ⅱ-1	3年次に履修(音楽教科教育法Ⅰ修得後)					
	教育実習(事前事後指導を含む)	4年次に履修 ※3を参照					音楽教科教育法Ⅱ-2	3年次に履修(音楽教科教育法Ⅰ修得後)					
教職実践演習	4年次教育実習後に履修												
介護等体験	☆中学校教諭免許のみ必要(単位なし)												
第6条の6に定める科目	法学(日本国憲法)					その他							
	体育Ⅰ												
	外国語科目												
	情報機器の操作等												